

2006年1月25日

## 新型可動式ホーム柵を中国・韓国で大量受注

ナブテスコ株式会社(本社:東京港区、社長:松本 和幸)は、この度、ホームからの転落防止や列車との接触防止を目的とした新型可動式ホーム柵(Automatic Platform Gate 略称:APG)を、中国・韓国の数都市から相次いで受注しました。

近年、海外市場ではプラットホームスクリーンドア(略称:PSD)やAPGの需要が、安全性や快適性の向上のために、新設駅のみならず既設駅においても急速に高まっております。

新型APGシステムは、ソウル地下鉄2号線、天津地下鉄1号線、重慶モノレール2号線への採用が決定されるとともに、中国の別の都市でも採用が内定しており、納入予定数量は約1,700開口です。

この度APGシステムに新型「APG-Bタイプ」「APG-Cタイプ」のラインアップが加わったことで、新設駅・既存駅それぞれの用途に合わせた最適な機種選定が可能となり、より幅広いニーズに対応できるようになりました。

当社は、APGにおいて、1998年開業の多摩都市モノレール向けに国内で初めて納入した実績があり、またPSDにおいても、1981年開業の神戸新交通ポートアイランド線以来、全世界で10,000開口以上納入し、約25年間に亘る技術力と実績を有します。

海外では、1998年香港地下鉄(MTR)から大型PSDプロジェクトを受注以降、東アジア地区で積極的にPSD・APGの販売活動を推進してまいりました。当社は、PSDおよびAPGの豊富な納入実績をもつ国内唯一のメーカーとして、新型APGシステムの開発を機に今後さらに国内市場に対する営業活動を強化する計画です。

製品の概要は次頁のとおりです。

### 「新型APGシステム」製品概要

- ・装置本体にガラスを採用し、乗降客に圧迫感を感じさせない可視性の高いデザインを実現しました。
- ・新設駅に最適な1台の駆動装置で2枚の扉を開閉させる「APG-Cタイプ」と、既設駅への追加設置を主なターゲットとした「APG-Bタイプ」の2タイプをラインアップ、信頼性の向上、ランニングコストの低減を実現しました。
- ・モニタリングシステムを標準装備し、設備の稼動状況の監視・記録を可能にしました。
- ・軽量化を図るとともに、プラットホームへの取り付け性を改善、設置作業に制約のある既存駅への施工性を向上しました。
- ・扉の衝突エネルギーの抑制、障害物検知、扉指詰め防止対策等安全性を考慮した制御システムを採用しました。



(写真は納入したシステムと同型機)

**ナブテスコ株式会社** 総務部広報担当

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号 TEL 03-3578-7070 FAX 03-3578-7237